

第 28 回原子力委員会
資料 第 3 号

ご意見・ご質問コーナーに寄せられたご意見ご質問
(期間：平成 24 年 6 月 14 日～平成 24 年 6 月 27 日)

原発再稼働について

○年 齢 : 41歳～45歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名 : 福島県

○ご意見の内容 :

大飯原発の再稼働の動きが活発ですが、首相の原発が安全であるという説明には全く納得できません。

原発の再稼働には、原発自体の安全性をしっかりと国民が納得できるような説明をすることが必須であると思いますし、それだけでなく今回の原発事故に至った経緯をしっかり調査し、これまで指摘され続けてきた原発事故の危険性に対する指摘をことごとく潰してきた組織的な体質について猛反省し、改善して、その結果を国民に示すことが先決であると思います。

それなくして、原発の再稼働などあり得ないのでないでしょうか？

反省なしに、また同じことを繰り返すのですか？

大規模地震はいつくるか分かりませんし、次の原発事故が起きたらもう日本という国はもう「おしまい」なのではないですか？

電力会社と原発規制、推進に携わってきた政治家、官僚、専門家に、体質改善を強く望みます。

大飯原発の再稼働について

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 公務員

○都道府県名 : 京都府

○ご意見の内容 :

大飯原発の再稼働に反対します。

先日、野田総理大臣が大飯原発について、「安全対策が整っている」として再稼働する旨、記者会見を行いましたが、福島第一原発の事故原因が究明されていない中で、十分な対策が整っているとは決して言えないと思います。

一たび事故が起きれば、福井県だけではなく、関西圏・中京圏・関東圏もきわめて重大な被害を受けることになります。

幸い事故が起きなかつたとしても、使用済核燃料を更に増やしますが、その処分方法は確定しておらず、長期間にわたって管理していくリスクがあります。

福島県での事故が現に起きた今、事故が発生したら壊滅的被害を与える原発の再稼働は今後はやめていただきたいと思います。私も、原発について明確に反対してこなかつたことを反省しています。

未来の子ども達に美しい自然、国土を残していくためにも、大飯原発を再稼働させないようお願いします。そして、次の重大事故が発生する前に全ての原発の廃炉を完了できるよう、一刻も早く全原発の廃炉に着手する判断をお願いします。

大飯原発で福島と同様の原発事故が終わったら、日本は終わりです。

メルマガについて

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名 : 埼玉県

○ご意見の内容 :

毎回メルマガ見させてもらっています。

専門的な内容、細かな内容等読ませていただくうちに疲れてしまう感があります。

これらの内容はメルマガ受信者に読んでもらうことを第1に書かれているのでしょうか？

自己満足の為に書かれているのでしょうか？

テクニカルタームを駆使すればよいというものではなく、庶民に今何を伝えいかなければならない？

問題点はなにか？

今後原子力行政をどのように導くことが日本国の未来にとってプラスになるのか？

を簡潔に書き記すことが第1と私は思います。

戦後、昭和30年代、40年代、50年代と枯渇する資源を見据え日本が原子力エネルギーに比重を増していった時代背景を考え、

今後も更にエネルギー(電力)を人間が使うのであれば原子力発電がなくして成り立たないのは明らか。

一時の事象に惑うことなく、原子力の技術を磨き、2千年に1度の津波にも耐えられる躯体設備とし、制度面技術面で世界の模範となるよう頑張って頂きたい。それが技術立国日本の歩む道。

原発再稼働について

○年 齢 : 26歳～30歳

○性 別 : 女性

○職 業 : その他

○都道府県名 : 宮城県

○ご意見の内容 :

原子力発電(所)は安全ではない、という「事実」は最早大前提であるはずなのに、何故再稼働という愚かしい行動に向かってしまうのでしょうか？

本当に守るべきモノが分からないなら、立場を退くべきです。

与えられたのは苦境じゃない。
変革のチャンスです。

過去の遺物に縋る事の無い、勇気有る英断を望みます。

核燃料サイクル計画から撤退してください

○年 齢 : 36歳～40歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名 : 兵庫県

○ご意見の内容 :

お願いです。核燃料サイクル計画から撤退してください。

高速増殖炉「もんじゅ」を廃炉にしてください。

もんじゅの炉の冷却は金属ナトリウムを循環させて使いますが、これは空気に触れると発火し、水に触れると爆発します。事故が起きれば想像もつかないことになるでしょう。

アメリカ・フランスは撤退し、東京電力も自前の開発をあきらめています。核兵器に転用可能なプルトニウムが大量に出ます。国はこれを大量に保有することになります。これは非核 3 原則の理念に反するのではないでしょうか。

一刻も早く、核燃料サイクル計画を放棄する方向へ舵を切ってください！

大飯原発再稼動反対

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社役員

○都道府県名 : 福井県

○ご意見の内容 :

国民の生命を軽視した経済優先の政策に憤りを感じます。

安全対策の「計画」では、いざというときの安全は確保できません。

口先だけで暫定的といったところで、実質なんら安全対策が講じられていないではないですか。

福島の事故に学ばず反省すらないままの原発再稼動に強く反対します。

直ちに大飯原発再稼動の決定を破棄してください。

無題

○年 齢 : 66歳～70歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名 : 福島県

○ご意見の内容 :

先の大戦前、日本は ABCD 包囲陣を築かれ、政府・軍部・マスコミは、これの脅威を叫び、国民の危機感を煽った。この時、冷静に世界情勢、日本の実力を分析・反省し、南部仏領インドシナへの進駐を止めていたら、太平洋戦争へ突入することもなく、敗戦の憂き目を被ることもなかったであろう。

政府・電力会社・一部マスコミの原子力キャンペーンは、当時の状況と酷似している。夏の電力不足・電力の安定供給を叫び、国民の不安を煽っている。福島原発事故を冷静に分析・反省すれば、大飯原発再稼働などあり得ないはずなのに、分析も反省もせずに、突き進んでいる。

いずれ、日本壊滅といった大事故に陥るのは明らかである。日本は、一刻も早く、脱原発を。国是とすべきだ。

実用化できない核燃料サイクルの費用を、放射線被災地の除染費用に回せ！

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名 : 愛知県

○ご意見の内容 :

新しい原発建設が困難な電力会社が核燃料サイクルを続けるのは不良債権を増やすだけなので、この際、核燃料サイクルは欧米諸国に倣い断念して、その分の予算で、放射線汚染被災地帯の除染費用に回すべきです。

そこで次の3点を優先順位の順で提案します。

(1) 実用化できない核燃料サイクル予算費用を、原発事故で放射線汚染された被災地の除染予算に回し、早急に住民が帰宅し生計を営めるようインフラ整備して下さい。

(2) あと6年で、核燃料プールが満杯になる。と言われていたが、その後は、どう保管するのか決まっていない原発の核燃料プールの核物質の保管方法も早急に決めて下さい。

(3) J-PARC(茨城県 東海村)では半減期数万年の放射性廃棄物を1000年にする研究がされているが、実用化できない再処理工場、ナトリウム漏れが水と反応して爆発する高速増殖炉で実用化せず欧米では放棄した核燃料サイクルの予算を、J-PARCに回した方が国民にも国際的にも利益に成り、実用化されれば特許を海外に販売も出来るので、J-PARCに放射性廃棄物の半減期縮減研究費用を回して研究の早急の完成をして下さい。